夢洲における物流交通対策について

令和5年3月23日

大阪港湾局

資料4

万博開催時の物流交通対策（案）

資料4-1

①CONPAS(※)の導入
（ゲート処理時間の短縮等）
- 令和4年8～9月に第2回、**令和5年2月に第3回、令和5年3月に第4回の試験運用を実施**
- 令和5年度中の本格運用をめざす

（※）Container Fast Passの略

②車両待機場の整備 済
（240台分確保）

③ターミナルゲート時間延長
（30分で最大200台分散）

（通常）平日：8:30～11:30,13:00～16:30
土曜：8:30～11:30

④荷捌き地の拡張（ゲート増設）
（ゲート前待機スペース100台分確保）
（ゲート増設により、1時間当たり120台削減）
- 令和5年度末完成予定

（写真はイメージ）

⑤咲洲へシフト
⑤-2．空コンテナ返却場所一時移転
- 令和3年10月に夜間陸送による社会実験を実施
- **令和4年11～12月に海上運搬による社会実験を実施**

②車両待機場の整備
（150台分確保）
- 令和5年3月末完成予定

⑤咲洲へシフト
⑤-1．船舶着岸場所一時移転
- 令和5年1月にC6,7ガントリークレーン製作設置工事に着手

⑤-2．空コンテナ返却場所一時移転
- **令和4年11～12月に海上運搬による社会実験を実施**

≪③ゲートオープン時間の延長、⑤咲洲へシフトは万博期間中のみの対策≫

物流交通対策概略工程（案）

資料4－2

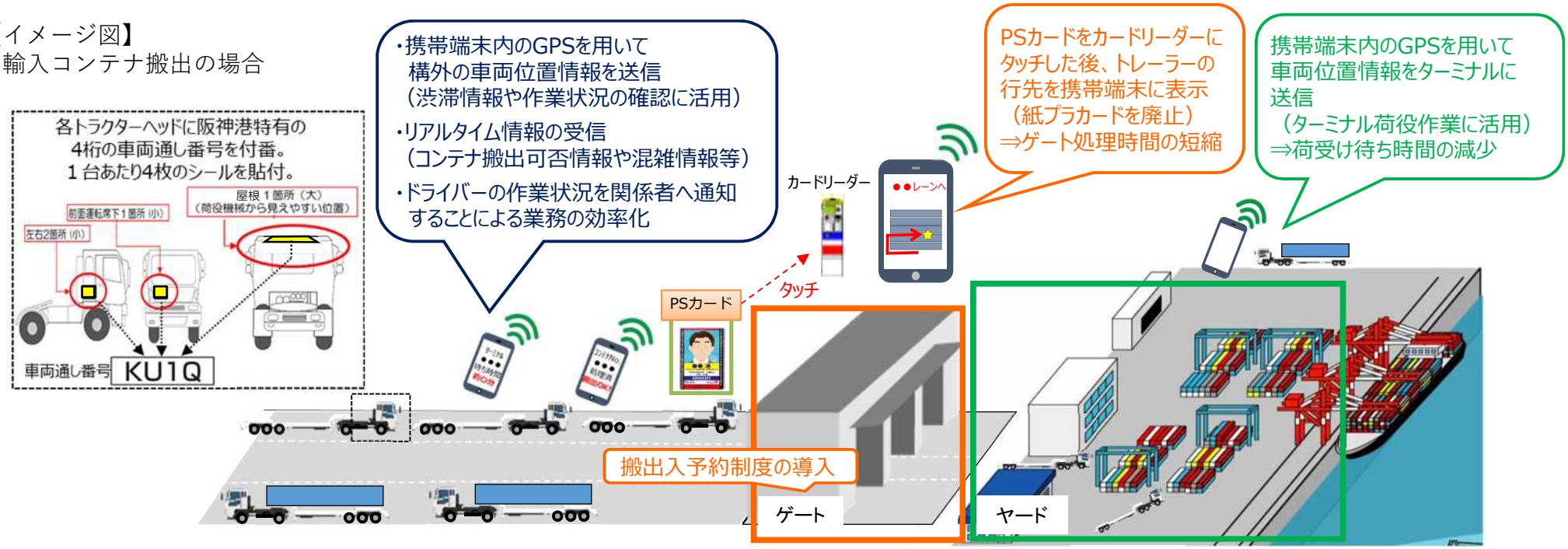
万博開催 R7.4.13～10.13

項目	概要	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
①CONPASの導入	新・港湾情報システム（CONPAS）		概略・詳細設計、試験期間中の改修		試験運用等	順次導入	本格運用	
②車両待機場の整備	夢洲での追加整備		詳細設計	工事	R4.1.31～供用開始			
	咲洲での追加整備		概略設計	詳細設計	工事	供用開始		
③ターミナルゲート時間延長	早朝等ゲートオープン時間の延長		社会実験 検討・協議等					実施
④荷捌き地の拡張（ｹﾞｰﾄ増設）	C12ｺﾝﾃﾅﾀｰﾐﾅﾙ拡張※、ｹﾞｰﾄ増設 （※ 増設ゲート周辺部分）		検討・協議等	詳細設計	コンテナターミナル拡張工事 増設ゲート工事		システム導入 運用	
⑤咲洲へシフト	船舶着岸場所一時移転 空ｺﾝﾃﾅ返却場所一時移転		検討・協議等	詳細設計 社会実験 R3.10実施	ガントリークレーン整備 社会実験 R4.11-12実施	試行期間 社会実験	社会実験	本格稼働

進捗状況１

① 新・港湾情報システム（CONPAS）の導入

【イメージ図】
輸入コンテナ搬出の場合



≪導入スケジュール≫

・令和3年度より夢洲(DICT)において試験運用を実施中。

	実施日	実施対象	実施結果
第１回	令和4年1月27, 28日	輸入コンテナ（搬出・実入り）	システムが問題なく稼働することを確認
第２回	令和4年8月22日～9月2日	輸入コンテナ（搬出・実入り）	ゲート受付時の処理時間60秒削減（69秒→9秒）を確認
第３回	令和5年2月20日	輸出コンテナ（搬入・実入り）	搬入コンテナ情報の事前照合機能について、概ね正しい照合結果が表示されることを確認
第４回	令和5年3月6日～3月17日	輸入コンテナ（搬出・実入り）	（整理中）

➡ 令和5年度中の本格運用をめざす。

進捗状況１

① 新・港湾情報システム（CONPAS）の導入

【DICTにおける試験運用の様子】

①CONPAS車の車両待機場到着、
予約確認、
待機場内専用レーン通行

②ターミナルゲート到着
③INゲートでの入場手続き
（PSカードの読取り）

④ドライバーに貸与した携帯
端末へのヤード内行先表示
（コンテナ蔵置場所表示）

⑤ヤード内でのコンテナ積み込み作業
⑥OUTゲートでの退場手続き
⑦CONPAS車のターミナル出発

資料４－４

【DICTにおける試験運用の実施概要・実施結果】

第３回試験運用　輸出

・時　　期：令和5年2月20日(月)
・実施内容：ダミーのコンテナデータ（輸出コンテナの搬入・実入り）を用いた、搬入コンテナ情報の事前照合機能の動作確認

※輸出コンテナを対象にした初めての試験運用

➡搬入コンテナ情報の事前照合機能について、概ね正しい照合結果が表示されることを確認

第４回試験運用　輸入

・時　　期：令和5年3月6日(月)～3月17日(金)（約2週間）
・参加社数：海運貨物取扱業者 13社
　　海上コンテナ輸送事業者 27社
・実施内容：1)営業コンテナ（輸入コンテナ(搬出・実入り)）を対象としたゲート処理の運用の検証
　　2)待機場を活用したCONPAS運用ルールや動線の確認
　　3)ターミナルでの荷役作業へ活用するためのCONPASとTOS(ﾀｰﾐﾅﾙｵﾍﾟｰﾚｰｼｮﾝｼｽﾃﾑ)の連携の確認
・予約枠設定：60分枠(基本)、8枠/日、 30台/枠(基本)

※第2回試験運用よりも規模を拡大した試験運用（輸入）

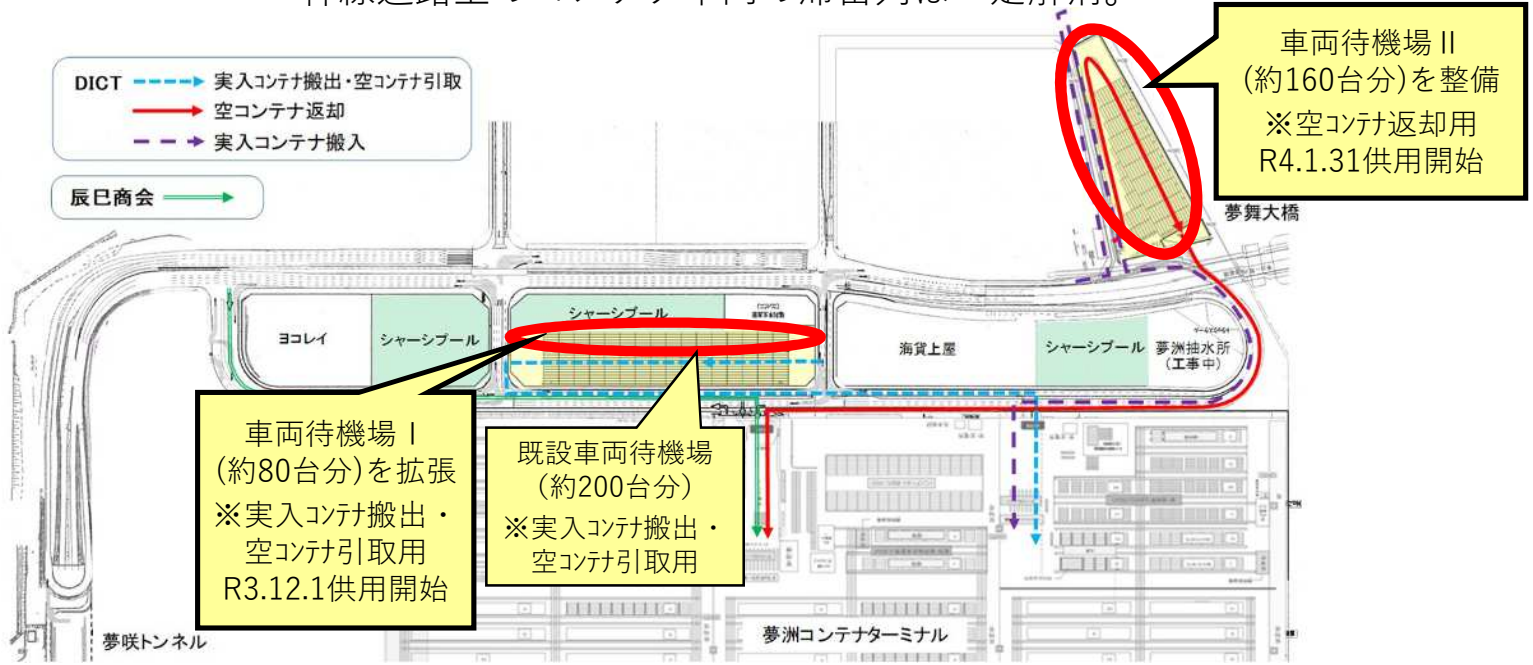
➡ 実施結果について整理中

進捗状況２

② 車両待機場の整備

＜**夢洲**＞　令和3年度に約240台分を追加整備し、既設待機場と合わせて合計で約440台分の待機場を確保済み。

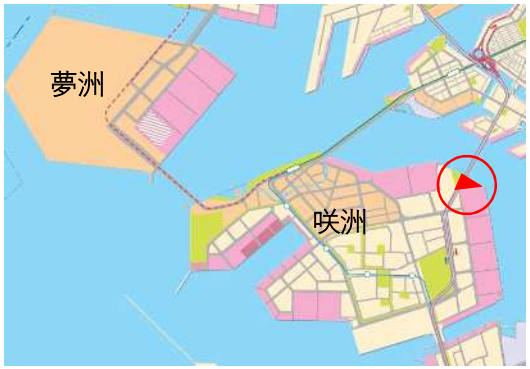
➡幹線道路上のコンテナ車両の滞留列は一定解消。



車両待機場Ⅱの使用状況

現在の幹線道路の状況

＜**咲洲**＞　車両待機場(150台分)の整備について、令和4年3月工事着手、令和5年3月末完成予定。



咲洲車両待機場位置図

工事状況（R5.2）

進捗状況３

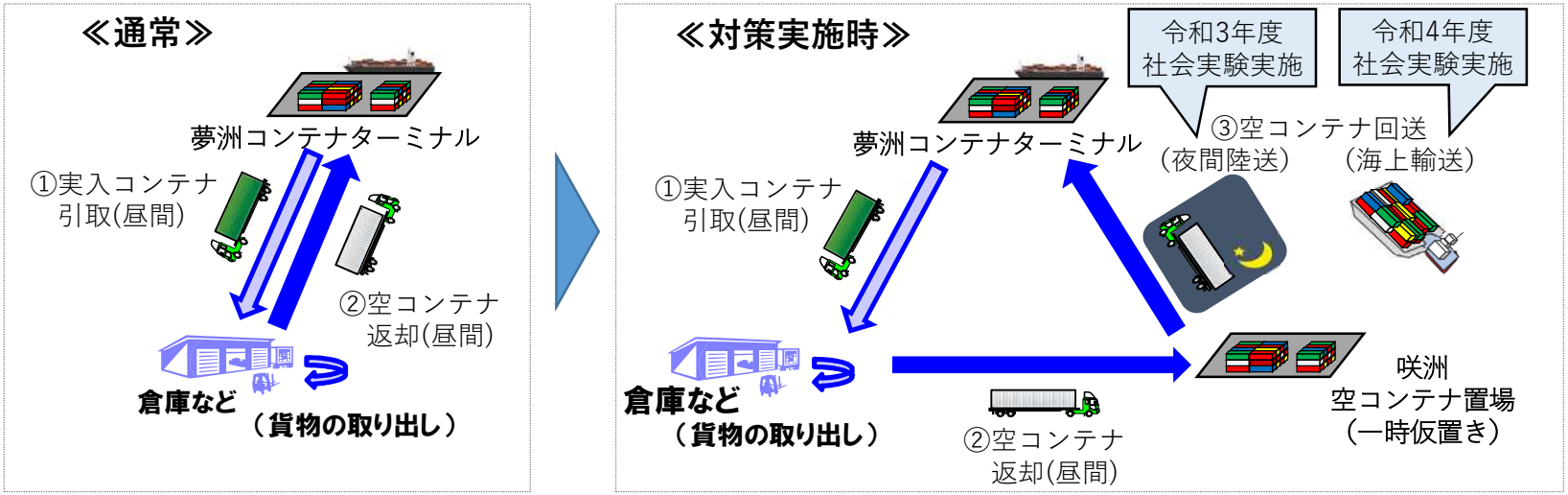
⑤-1 船舶着岸場所一時移転（咲洲C6,7埠頭 ガントリークレーン整備）

・令和5年1月にガントリークレーン製作・設置工事に着手。

⑤-2 空コンテナ返却場所一時移転

・令和4年11～12月に海上輸送による社会実験を実施。

	咲洲側 返却場所	実施日数 ・本数	実施結果
その1	C1 ﾀｰﾐﾅﾙ	16日間 400本	13時時点のC11入場車両の 夢洲道路上待機台数が ▲39%（28台/日→17台/日）
その2	C6,7 ﾀｰﾐﾅﾙ	16日間 432本	13時時点のDICT空ｺﾝﾃﾅ返却車両の 夢洲道路上及び待機場内待機台数が ▲13%（178台/日→155台/日）

《実施場所、空コンテナ海上輸送状況》

【イメージ図】